

「JAの自己改革に関する組合員調査」 中間集計結果(詳細版)

(令和元年5月末時点)



令和元年8月
全国農業協同組合中央会

「JAの自己改革に関する組合員調査」の概要について

- JAグループでは、①JAグループ自ら、自己改革への評価などに関する正・准組合員の意思を的確に把握し、②正・准組合員の対話強化の契機とするため、「JAの自己改革に関する組合員調査」を実施。
 - 現時点で、46都道府県・587JAで調査の実施を決定している。(※令和元年8月1日現在JA数:607JA)
 - 本報告は、令和元年5月末までに回収された原票について、中間集計を実施したもの。46県域・476JAから提出があった。
 - 回答数は3,193,640件(有効回答件数ベース)。うち、正組合員は1,815,276件(正・准組合員比57.2%)、准組合員は1,360,593件(同42.8%)。また、認定農業者数は282,217件(同8.9%)(注1)。
 - 各JAにて本年5月までに調査対象とした組合員数は約481万人であり、これに対する回収率は、正組合員71.0%、准組合員60.2%、組合員全体では66.3%。
- (注1)認定農業者は、認定農業者と同一世帯の構成員である組合員や、認定農業者である農業生産法人の役員・従業員等である組合員を一部含んでいる。

【調査の概要 (平成30年8月8日 JA全中 理事会決定)】

- 1. 調査目的：**
 - ① JAグループ自ら、自己改革への評価などに関する正・准組合員の意思を的確に把握する。
 - ② 正・准組合員の対話強化の契機とし、正・准組合員との一層の関係強化に取り組む。
- 2. 調査実施期間：**平成30年12月～令和元年12月
- 3. 調査対象者：**原則として、全ての正・准組合員
- 4. 調査手法：**原則として、JA役職員の訪問・対面による調査票の配布・回収

【回収率】

本年5月までに調査対象とした組合員数： 4,818,040人 (※) JA申告に基づき把握
回収件数： 3,193,640件 (有効回答件数ベース)
回収率： 正組合員 71.0%
 准組合員 60.2%
 合計 66.3%

**JAの自己改革に関する
組合員アンケート**

アンケートへのご協力をお願い

JAグループは、以下の3つの基本目標を掲げ、地域農業の振興や地域づくりに向けた自己改革に取り組んでいます。

農業者の所得増大
JA自己改革基本目標
農業生産の拡大
地域の活性化

今般、JAグループでは、みなさまの地域のJAが現在、取り組んでいる自己改革に対する評価をお伺いし、より一層、組合員のみなさまの期待に応え、魅力ある地域の農業や暮らしを支えるJAとなれるよう、組合員アンケートを実施することといたしました。

政府は、平成33年3月まで、自己改革の実施状況等を調査することとしており、改革の進展状況によっては、JAの事業の分割や准組合員の事業利用規制などが検討される可能性もあります。

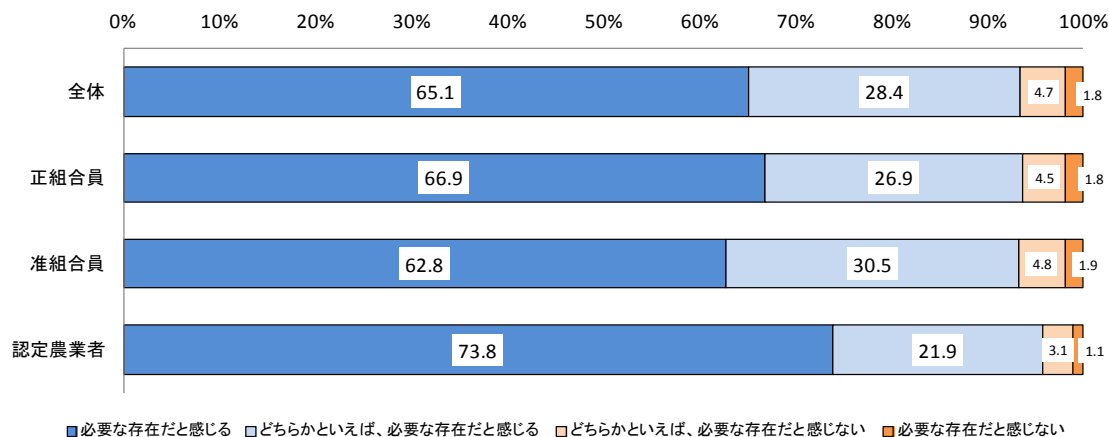
組合員のみなさまからいただいた評価が、今後、政府が行う准組合員の事業利用規制のあり方の検討に向けても重要となります。
ご多用のところ誠に恐縮ですが、本アンケートの趣旨をご理解いただき、何卒ご協力いただきたくお願い申し上げます。

JAグループ

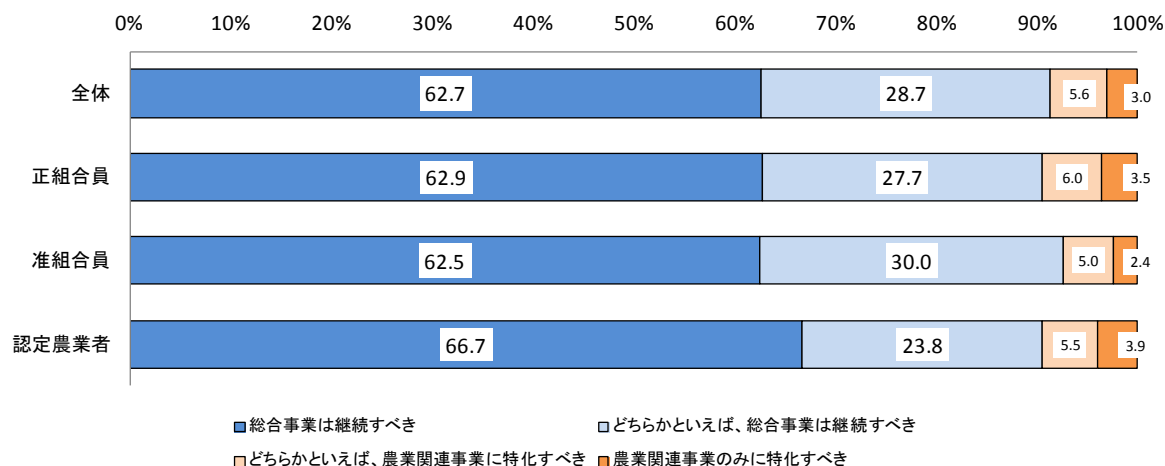
調査結果①: JAの必要性、総合事業の継続

- 「JAの必要性」については、正組合員では93.8%、准組合員では93.3%が「必要な存在だと感じる」「どちらかといえば、必要な存在だと感じる」と回答している。
- 「JAの総合事業の継続」については、正組合員では90.6%、准組合員では92.5%が「総合事業は継続すべき」「どちらかといえば、総合事業は継続すべき」と回答している。

問1B: JAは地域農業や暮らしにとって必要な存在だとお感じになりますか？



問1C: JAは、農業関連事業や、信用事業・共済事業など、様々な事業を行っています。このJAの総合事業について、どのようにお考えになりますか？



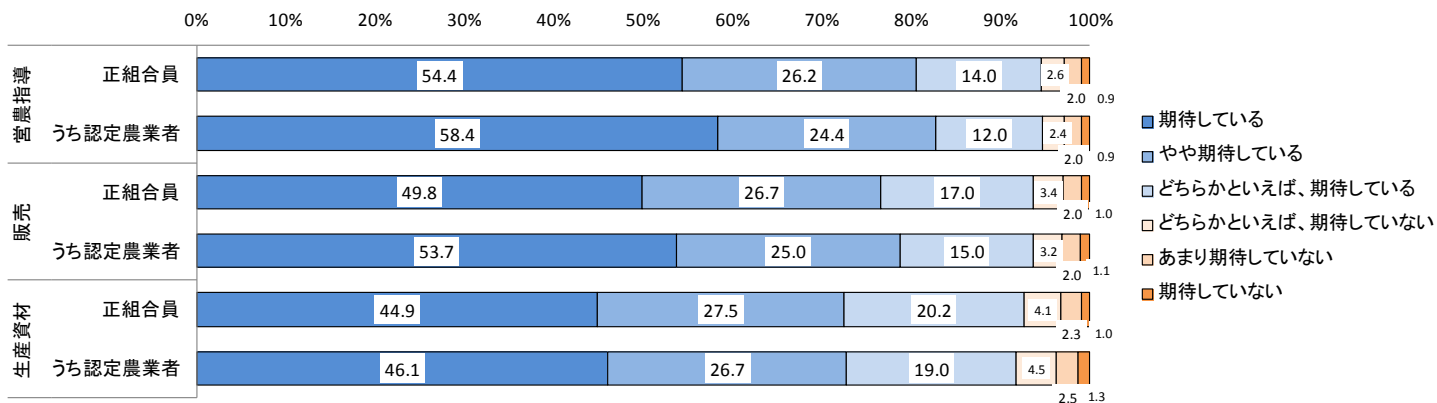
調査結果②：営農関連事業への期待度・満足度

- 期待度は、いずれの事業においても、正組合員全体で、約7～8割が「期待している」「やや期待している」と回答している。また、「どちらかといえば、期待している」を加えると、約9割となっている。
- 満足度は、いずれの事業においても、正組合員全体で、約6割が「満足」「やや満足」と回答している。また、「どちらかといえば、満足」を加えると、約8割となっている。
- 認定農業者を正組合員全体と比較すると、営農指導事業・農畜産物販売事業では、「期待している」「やや期待している」の割合は、正組合員全体を2.2ポイント上回る。
- 一方、生産資材購買事業では、「満足」「やや満足」の割合は、正組合員全体を3.0ポイント下回る。

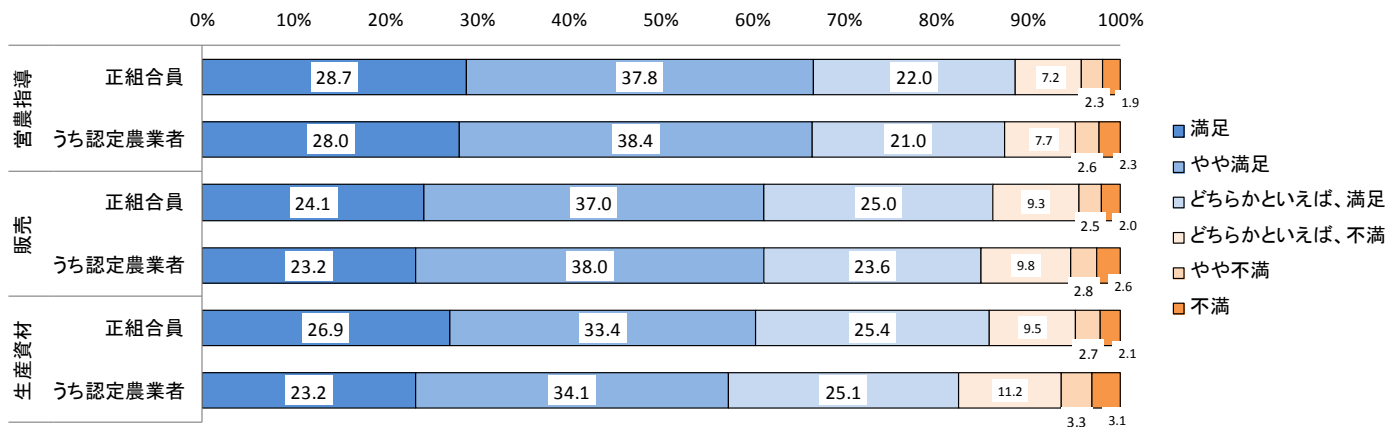
問2：JAグループは、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」につながる分野を最重点として、下記の3つの事業を中心に拡充・強化することとしています。

1. 営農指導事業 2. 農畜産物販売事業 3. 生産資材購買事業 それぞれの事業について、あてはまるものを1つ選んでください。

期待度



満足度

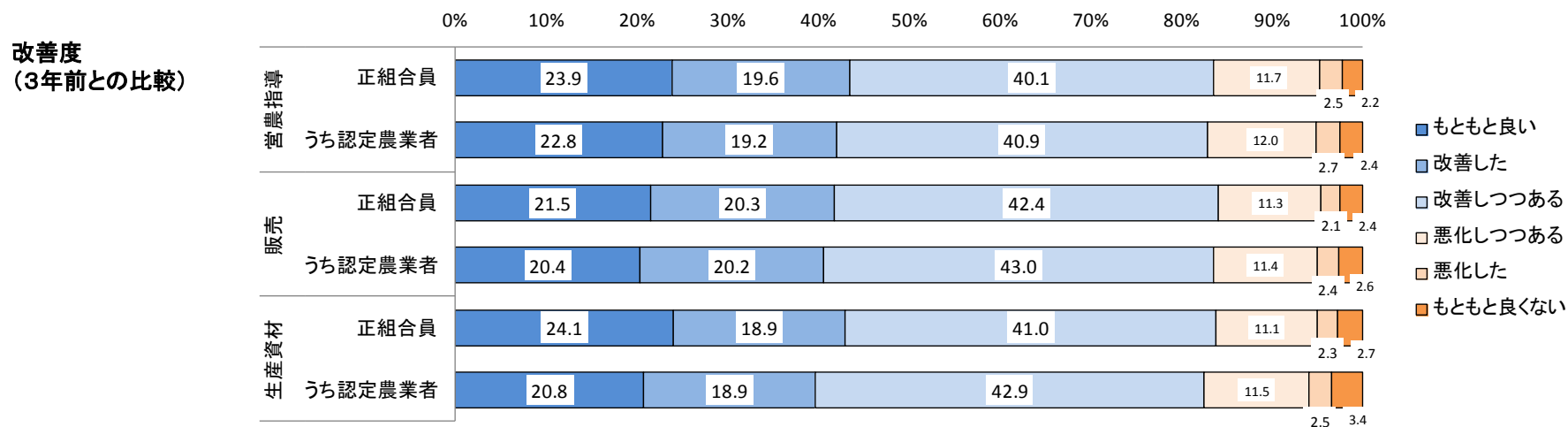


調査結果③: 営農関連事業の改善度

- 改善度では、いずれの事業においても、正組合員全体で、約6割が「改善した」「改善しつつある」、約2割が「もともと良い」と回答している。
- 認定農業者を正組合員全体と比較すると、いずれの事業についても、「もともと良い」の割合は、正組合員全体比で1.1～3.3ポイント下回る一方で、「改善した」「改善しつつある」の割合は、0.4～1.9ポイント上回る。

問2: JAグループは、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」につながる分野を最重点として、下記の3つの事業を中心に拡充・強化することとしています。

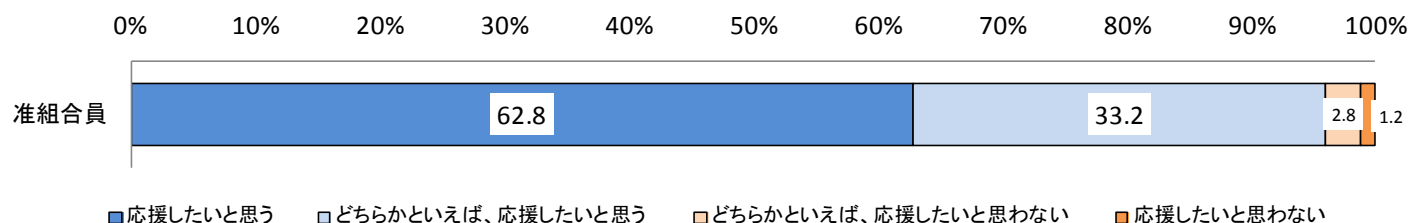
1. 営農指導事業 2. 農畜産物販売事業 3. 生産資材購買事業 それぞれの事業について、あてはまるものを1つ選んでください。



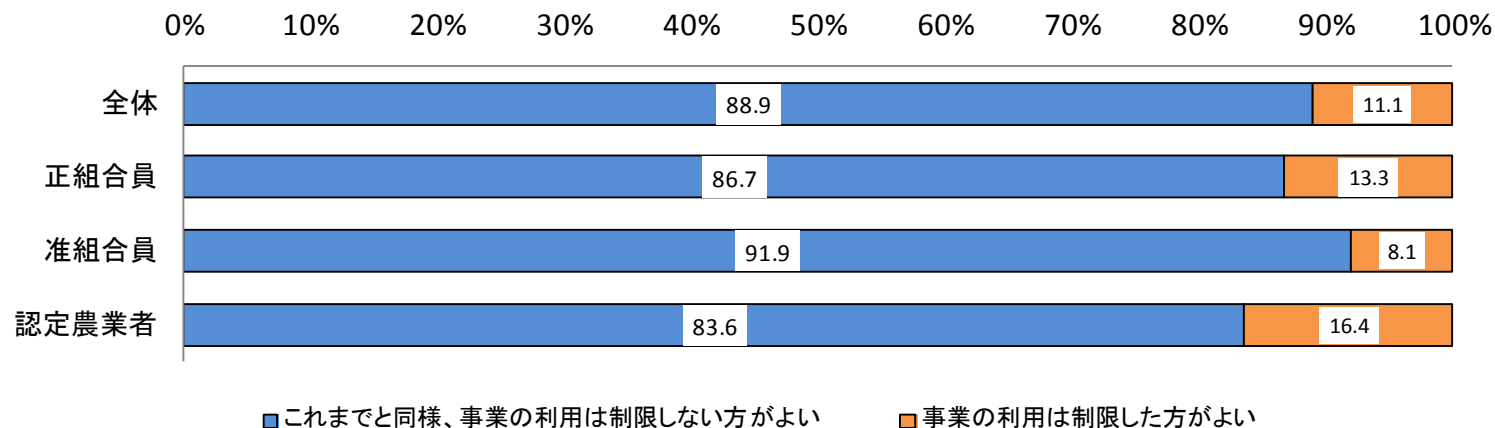
調査結果④: JAの地域農業の振興や地域づくりの応援、准組合員の事業の利用の制限

- JAの地域農業の振興や地域づくり活動について、准組合員の96.0%が「応援したいと思う」「どちらかといえば、応援したいと思う」と回答している。
- 准組合員の事業の利用の制限については、正組合員の86.7%、准組合員の91.9%が「制限しない方がよい」と回答している。

問4A: JAの事業を利用したり、地域の農畜産物を食べることに、農業体験などを通じて、JAの地域農業の振興や地域づくり活動を応援したいと思いませんか？



問4D: 准組合員がJA事業の利用を制限されることについてどうお考えですか？



下記の設問を読み、回答用紙にご記入ください。
正組合員の方は **正組合員**、准組合員の方は **准組合員** のマークがある設問についてご回答ください。

あなたご自身について **正組合員** **准組合員**

(1) 組合員属性

- ① 正組合員 ② 准組合員

(2) 年代

- ① 29歳以下 ② 30歳代 ③ 40歳代 ④ 50歳代
⑤ 60歳代 ⑥ 70歳代 ⑦ 80歳以上

(3) 性別

- ① 男 ② 女

(4) 農畜産物販売金額(過去1年間・税込)

- ① なし ② 100万円未満
③ 100万円～300万円未満 ④ 300万円～1000万円未満
⑤ 1000万円以上

(5) 認定農業者

- ① 認定農業者である
② 認定農業者でない

※この設問は個人を特定するものではありません。

問1 JAの総合事業 **正組合員** **准組合員**

A あなたはJAの事業を利用したことがありますか？

- ① ある
② ない

B JAは地域農業や暮らしにとって必要な存在だと感じになりますか？

- ① 必要な存在だと感じる
② どちらかといえば、必要な存在だと感じる
③ どちらかといえば、必要な存在だと感じない
④ 必要な存在だと感じない

C JAは、農業関連事業や、信用事業・共済事業など、様々な事業を行っています。
このJAの総合事業について、どのようにお考えになりますか？

- ① 農業関連事業や、信用事業・共済事業などを行っている、総合事業は継続すべき
② どちらかといえば、総合事業は継続すべき
③ どちらかといえば、信用事業・共済事業などはやめて、農業関連事業のみに特化すべき
④ 信用事業・共済事業などはやめて、農業関連事業のみに特化すべき

問2 農業関連事業

正組合員

JAグループは、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」につながる分野を最重点として、下記の3つの事業を中心に拡充・強化することとしています。

- 1 営農指導事業
- 2 農畜産物販売事業
- 3 生産資材購買事業

それぞれの事業について、あてはまるものを1つ選んでください。

1 営農指導事業(農業の栽培技術指導や経営支援など)

A 利用状況(過去1年間)

- ① 利用あり(生産部会、圃場などで、農業について相談したり、巡回を受けたりした) ⇒以下のB、C、Dをご回答ください
- ② 利用なし ⇒「問2 2 農畜産物販売事業」へ

B 期待度(現状への満足度に関わらず、しっかり取り組んでほしいとお考えの程度)

- ① 期待している
- ② やや期待している
- ③ どちらかといえば、期待している
- ④ どちらかといえば、期待していない
- ⑤ あまり期待していない
- ⑥ 期待していない

C 満足度

- ① 満足
- ② やや満足
- ③ どちらかといえば、満足
- ④ どちらかといえば、不満
- ⑤ やや不満
- ⑥ 不満

D 3年前と比べて、利便性、サービス、メリットなど事業内容がどう変わりましたか？

- ① もともと良い
- ② 改善した
- ③ 改善しつつある
- ④ 悪化しつつある
- ⑤ 悪化した
- ⑥ もともと良くない

2 農畜産物販売事業(農畜産物の販売など)

A 利用状況(過去1年間)

- ① 利用あり ⇒以下のB、C、Dをご回答ください
- ② 利用なし ⇒「問2 3 生産資材購買事業」へ

B 期待度(現状への満足度に関わらず、しっかり取り組んでほしいとお考えの程度)

- ① 期待している
- ② やや期待している
- ③ どちらかといえば、期待している
- ④ どちらかといえば、期待していない
- ⑤ あまり期待していない
- ⑥ 期待していない

C 満足度

- ① 満足
- ② やや満足
- ③ どちらかといえば、満足
- ④ どちらかといえば、不満
- ⑤ やや不満
- ⑥ 不満

D 3年前と比べて、利便性、サービス、メリットなど事業内容がどう変わりましたか？

- ① もともと良い
- ② 改善した
- ③ 改善しつつある
- ④ 悪化しつつある
- ⑤ 悪化した
- ⑥ もともと良くない

3 生産資材購買事業(肥料や農機具等の販売など)

A 利用状況(過去1年間)

- ① 利用あり ⇒以下のB、C、Dをご回答ください
- ② 利用なし ⇒問3へお進みください

B 期待度(現状への満足度に関わらず、しっかり取り組んでほしいとお考えの程度)

- ① 期待している
- ② やや期待している
- ③ どちらかといえば、期待している
- ④ どちらかといえば、期待していない
- ⑤ あまり期待していない
- ⑥ 期待していない

C 満足度

- ① 満足
- ② やや満足
- ③ どちらかといえば、満足
- ④ どちらかといえば、不満
- ⑤ やや不満
- ⑥ 不満

D 3年前と比べて、利便性、サービス、メリットなど事業内容がどう変わりましたか？

- ① もともと良い
- ② 改善した
- ③ 改善しつつある
- ④ 悪化しつつある
- ⑤ 悪化した
- ⑥ もともと良くない

問3 自己改革の認知度 正組合員 准組合員

あなたのJAは、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」などを目標とした自己改革に取り組んでいます。こうしたJAの取り組みをご存知ですか？

(複数回答可)

- ① 総(代)会、集落座談会、生産部会の会合などで知った
- ② パンフレット、広報誌、新聞、テレビ、ホームページなどで知った
- ③ イベント(JAまつり、ローン相談会など)やファーマーズマーケットで知った
- ④ JAの役職員から直接聞いて知った
- ⑤ そのほかの方法で知った
- ⑥ 知らなかった

問4 准組合員制度

准組合員

A JAの事業を利用したり、地域の農畜産物を食べることに、農業体験などを通じて、JAの地域農業の振興や地域づくり活動を応援したいと思いませんか？

- ① 応援したいと思う
- ② どちらかといえば、応援したいと思う
- ③ どちらかといえば、応援したいと思わない
- ④ 応援したいと思わない

正組合員

B 准組合員のJA事業利用は、正組合員(農業者)にとっても必要だと思いませんか？

- ① 正組合員(農業者)にとっても必要だと思う
- ② どちらかといえば、正組合員(農業者)にとっても必要だと思う
- ③ どちらかといえば、正組合員(農業者)にとって不要だと思う
- ④ 正組合員(農業者)にとって不要だと思う

正組合員

C 准組合員のJA事業利用は、正組合員(農業者)が利用する農業関連事業の改善を阻害していると思いませんか？

- ① 阻害しているとは思わない
- ② どちらかといえば、阻害しているとは思わない
- ③ どちらかといえば、阻害していると思う
- ④ 阻害していると思う

正組合員 准組合員

D 准組合員のJA事業の利用が制限されることについてどうお考えですか？

- ① これまでと同様、事業の利用は制限しない方がよい
- ② 事業の利用は制限した方がよい

ご協力ありがとうございました。